

川俣町の「お達者度」

	川 俣 町	福 島 県	全 国
男性	17.03年	17.01年	17.45年
女性	20.72年	20.35年	20.55年

お達者度…対象年齢65歳以上の日常生活動作が自立している期間の平均

質問 国や県の平均値と比べてわが町の「お達者度」は、本格的な健康長寿のまちづくりを進めるべきと考えるが。

町長 当町の65歳以上の方が健康で過ごせる平均的な期間「お達者度」は、平成25年時点では、平成27年3月策定の第二次健康かわまた21計画のほか、今年度は、住民皆さんの健康情報をデータ化し、効果的な事業展開を検討する「ふくしま健康情報ステーション事業」や、健康づくり教室や社会活動等に参加した人にポイントを与えてポイントがたまると県内協力店で割引などの特典が受けられる「かわまた健康ポイント事業」など新たな事業に取り組んでいます。

健康長寿のまちづくりを健康長寿のまちを目指します



いし かわ きよし
石 河 清 議員

保険利用者数 936人

平成29年3月末時点

介護度	人数
要支援1	78
要支援2	139
要介護1	200
要介護2	224
要介護3	155
要介護4	147
要介護5	158
合 計	1,101

町長 ①国民健康保険の財政基盤の強化のため、公費を拡充することとしております。②県広域化後の保険料は、一人

質問 ①国保税の大幅減税が必ずや考えるが。②国保の運営は県に移管となるがどのようになるのか。③超高齢化社会を迎え介護職などの育成や人材確保、処遇改善などの取り組みは。④本町の介護保険利用者数、認定状況、特別養護老人ホームなどの待機者数は。⑤在宅医療介護のさらなる連携推進と、保健・医療・福祉のネットワークの取り組み方針は。⑥認知症施策推進事業の取り組みと今後の予防対策の取り組み方針は。

①国民健康保険の財政基盤の強化のため、公費を拡充することとしております。②県広域化後の保険料は、一人当たり94,414円になります。③介護職員の育成のため、済生会川俣病院と「介護職員初任者研修助成事業」を行っています。介護職の処遇改善については、平成24年から介護報酬上の制度として処遇改善加算金が創設されています。④介護保険の利用状況等については、表のとおりです。特別養護老人ホームの待機者数は川俣ホームが128人、南東北シルクロード館が200人、はなづかが70人で、合計398人で、重複申し込みを含む延べ人数となっています。⑤医療と介護の連携強化のため、医療介護連携ファイル「わたしのカルテ」を作成し、情報共有と多職種連携を図っています。⑥地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置したほか、認知症ガイドブックの全戸配布、認知症サポーター養成講座などにより対策を進めています。

医療・介護の問題について関係機関と連携して取り組んでいます

まちの課題を問う



かん の きよ かず

菅野 清一 議員

復興計画の進捗状況は

着実な取り組みを進めます

質問

国の復興創生期間（平成32年まで）を控え、本町の具体的な復興計画の進捗状況は。

町長

平成26年7月に改訂した第2次川俣町復興計画に基づき、復興、再生に取り組んできました。復興創生期間2年目となることから、東日本大震災発災以前以上のまちづくりを目指した取り組みを進め、目に見える形になってまいりました。具体的な取り組みについては、表のとおりです。

これまでの復興の取り組み（時期）

- 羽田産業団地へのベルグ福島立地・操業（H27.12～）
- 復興公営住宅40戸、県120戸の完成・入居（H28～）
- 役場新庁舎・業務開始（H28.11～）
- 農事組合法人ヒュッテファーム設立（H29～）
- 川俣町ポリエステル媒地活用推進組合設立とアンスリウム実証栽培（H29.5～）
- 山木屋とんやの郷オープン（H29.7～）
- 国道114号の浪江町再開通（H29.9～）
- 山木屋郵便局の再開（H29.11～）
- 西部工業団地へのミツフジ㈱立地協定（H29.12～）

低線量被ばくの健康被害を

どうみているのか

影響はゼロではないと考えます

質問

低線量被ばくの健康被害をどうみているのか。

町は、

原発被害訴訟をどうみているか

コメントは差し控えます

質問

これまでの原発被害訴訟（前橋、千葉、福島）の判決を町はどうみているのか。

町長

前橋、千葉、福島の三つの地方裁判所の判決内容は、様々な観点から判決に至っており、結果、国の責任についてはそれぞれの地裁の判断があったと推測されます。今後、高等裁判所、最高裁判所の行方を注視しているところであり、町

町長

どんなに低い放射線量でも、人体への影響が発生する確率はゼロではないとの考えのもと、ホールボディカウンタによる内部被ばく検査や、ガラスバッジによる外部被ばく検査の実施、専門家による相談、放射線に関する教育と啓発事業などの取り組みを継続して実施していきます。



福島地方裁判所で行われた原発訴訟

としてのコメントは差し控えさせていただきます。

川俣高等学校活性化協議会の概要

構成	川俣高等学校校長、川高PTA会長、同窓会、町立中学校校長、町PTA連絡協議会長、町マテリアル交流会、異業種交流会、商工会等の役員
県への要望事項	1. 特色ある学科へ編成した人材育成 2. 町内事業所、企業への即戦力としての人材育成 3. 近畿大学等との連携した人材育成

町長 8月17日に「川俣高等学校活性化協議会」を発足いたしました。協議会、また同窓会懇談会等で検討し、三つの重点事項を定め、11月21日、活性化協議会役員とともに福島県に要望活動を行いました。「総合学科への改編」など、具体的な提案もしたところですが、県教育長からは、「意見、アイデ

質問 私は、過去に平成28年3月、同12月、29年3月定例議会において、川俣高校に関する質問をしており、また、同僚議員も何回か質問をしておりますが、その後の町の対応、対策があまり感じられません。来季も定員割れが予想されますので、町としてこの状況をどう対応、対策していくのか。

「川俣高等学校活性化協議会」で要望等を行っています

県立川俣高等学校への町の対応・対策は



たか はし きよ み
高橋清美 議員



道の駅シルクピアの売り場

道の駅の整備は
「道の駅川俣活性化計画」により
地域活性化を目指します

質問 道の駅については、長距離ドライブ、女性や高齢者ドライバーが増加する中で、一般道路でも、安心して自由に

町長 道の駅川俣には年間29万人の方が訪れますが、移動の途中、トイレ休憩を中心とする利用が中心で、滞在時間も10分未満となっています。このため、平成29年3月に「道の駅川俣活性化計画」を策定し、活性化のための5つのポイントを定め、平成31年度までに組み込む15の事業計画を定めています。この計画に基づき、道の駅を拠点とした地域活性化に努めていきます。

アとして賜る」と返答があったところですが、引き続き、県教育委員会と町とが連携して、具体的なあり方

を検討していくことを確認しており、意見交換等を通じて川俣高校の活性化に取り組んでいきます。

まちの課題を問う

耕作放棄地対策は

関係機関と連携し、計画的に進めています

質問

① 解消するための施策は
② 用排水路整備をすべき
と考えるが。

町長

① 平成28年4月から「農業委員会の改革」が行われ、農地等の利用の最適化の推進が最も重要であるとされました。これにより農地利用最適化推進委員も新設されたところです。

今後は、農業委員と、農地利用最適化推進委員との連携に加え、農地中間管理機構との連携により、農地利用の最適化が進み、耕作放棄地の発生防止・解消が進むことを期待しています。② 未整備の用排水路については、振興計画等に基づき、順次整備を進めています。

農地等の利用の最適化の推進

- ① 担い手への農地利用の集積・集約化
- ② 遊休農地の発生防止・解消
- ③ 新規参入の促進

この三つにより、農地等の利用の効率化及び高度化の促進を行う。



むら かみ げん きち

村上源吉 議員

歩道側溝整備の見通しは

年次計画を早期に策定します

質問

歩道側溝の計画や見通しは。

町長

国の社会資本整備総合交付金を活用し、町道新中

広瀬川改修について

県と連携し、進めていきます

質問

① 新宮の旧河川跡地の利用計画は。

② 護岸堤防を拡げ町道にする計画は。

町長

① 平成26年度に、県から「廃川敷となる河川の引き受けについて」という意見照会があり、町道として引き受ける旨の意向を回答しております。今後、具体的な続きが示され次第、町道整備を検討していきます。



未改修の広瀬川

す。② 県の広瀬川河川改修工事に併せて、幅員4メートルの町道として整備します。

町・中道線の歩道と側溝の整備を行っています。また、そのほか町単独で側溝整備を行っており今年度は町道五百田中道線、町道鶴東・鉄炮町線を実施します。今後、年次計画を早期に作成し、予算の確保に努めていきます。

質問 町の臨時職員は何人いるのか。また、法改正により、同一労働同一賃金への取り組みが求められているものと理解するが、どのような対応を考えているのか。

町長 12月1日時点の臨時職員の雇用は、合計59人となっており、本年3月からより明確な任用基準を整備し、現在は臨時職員、嘱託職員、一般非常勤職員の3区分としています。「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」により、平成32年度から「会計年度任用職員」の制度が設けられ、業務の性質によって、期末手当の支給が可能となります。今後の動向を注視しつつ賃金・雇用体系の整備に努めます。

川俣町の臨時職員数

H29.12.1時点

臨時職員（緊急時、欠員補充等の一時雇用）	12名
嘱託職員（施設管理運営、学校の指導主事等）	4名
一般非常勤職員（幼稚園教諭等）	43名
合計	59名

臨時職員の処遇改善は法改正に基づき対応を検討します



えん どう むね ひろ

遠藤 宗弘 議員

質問 就業人口の減少、高齢化が進み、耕作放棄地が拡大している町の農林業の対策のため、長期計画を立てる必要があると考えるが。

町長 山木屋地区の営農再開の問題など、早急に解決すべき問題については、引き続き国・県に要望を行っていきます。

町の農林業をどうするのか 計画を見直し、対策を立てます

町全体においても厳しい状況にあることから「川俣町農業・農村振興条例」の目的、基本理念の達成のため、平成20年度に策定した「川俣町農業・農村振興計画」を見直します。



農地を調査する農業委員

質問 来年から米の生産目標が廃止され、10アール当たり7,500円支払われていた直接支払交付金が廃止になるが、町の農家の減収はどの程度になるのか。

米の生産調整廃止で町の減収はいくらか 全体で約100万円の減収です

町長 平成29年度交付実績は41名の農家に100万5千円で、1農家当たり24,500円となっていました。激減緩和措置として平成26年産米から4年間行われ、今後は、需要に応じた生産体制になるよう、主食用米から飼料用米への転換等が主体的に行われることが期待されています。

なお、農家の不安解消のため、施策等の動向を注視していきます。

所管事務調査報告

広報編集常任委員会

福岡県須恵町・大刀洗町

平成29年10月17日～19日に実施しました。須恵町、大刀洗町ともに、町議会広報全国コンクールの受賞歴がある、見やすく整理された議会だよりを発行しています。写真を大きく、見出しと写真で内容が伝わるように、余白を適度にとり、紙面にも住民が参加するコーナーを設けるなど、それぞれに工夫をして編集に当たっていました。

表紙は「未来を担う子どもたち」というテーマを設けて、一人のこどもを大きく、週刊誌の表紙のように取り上げているのが印象的でした。



須恵町での研修

議会運営委員会

愛知県日進市・滋賀県多賀町

平成29年11月6日～8日に実施しました。日進市では、議長を1年ごとに選挙することとしています。理由は、議長の職務がほかの議員に比べて著しく多く、住民に接する機会が減ってしまうこと、また、議長としての経験を多くの議員が積むことで資質の向上が図られることの二つを挙げています。

多賀町は、人口減少対策のため、議会と町が手を携えて取り組みを進めています。

議会改革を検討しましたが、単に変えることや条例を作ることを目的とせず、魂のこもった改革を継続的に進めることとしているそうです。



滋賀県多賀町

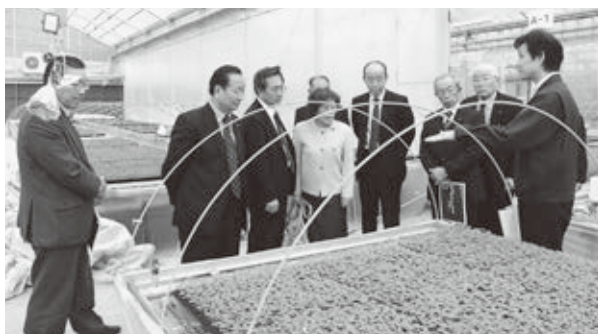
予算・決算常任委員会（合同）

愛媛県松前町・ベルグアース本社

平成29年11月27日～29日に実施しました。松前町では、より住民サービスの向上を図るため、予算が説明どおりに使われているか審査するため、予算決算常任委員会を設け、予算を全体的な視点で、予算を審査した人が決算も審査する体制としています。また委員会の下部組織として分科会を設けています。

ベルグアース

本社では、日本最大級の閉鎖型苗生産施設による最先端の苗生産技術体制などについて見学し、説明を受けました。その最新設備により、ベルグ福島が羽田産業団地に立地されています。



ベルグアース本社

町民の声

私のひと言



ひとにやさしいまち
川俣町へ

飯 坂
菅 野 俊 一 さん

成人式を見てきました。自分が出席したのは、三十数年前で、当時のことはよく思い出せません。

式は少し緊張の中、始まりました。成人証書が渡され、来賓が式辞を述べられて、新成人の代表が誓いの言葉を述べました。その中で「川俣町の発展のために、これからもがんばります」との言葉があり、新成人に頼もしさを感じることができ、とてもうれしかったです。

その後、成人式のニュースで晴れ着を着られない新成人のことを知りました。着付け会場に行ったものの、業者が来ていなくて、晴れ着を着ることができなかったそうです。代わりに美容師の人たちがボランティアで着付けを行いました。このような行動は、やさしい心の表れではないでしょうか。

少子高齢化が進み、人と人とのつながりが薄くなる中、川俣町の人たちが、やさしい心をみんなで持ちより、生活していつ「人にやさしい日本一のまち 川俣町」になることを願っています。

がんばれ! かわまたまち!!

町駅伝選手を応援しました

11月19日のふくしま駅伝の川俣町チームの応援に、町議員が参加しました。伝統ある議会応援団旗のもと、大声で「がんばれ! かわまたまち!!」と応援してきました。



二本松市役所前での応援

『がん探知犬』について研修しました

—厚生文教常任委員会所管事務調査—



平成29年12月12日に、山形県金山町で実施している「がん探知犬」事業について、調査を行いました。金山町は胃がんによる死亡率が高かったことから、日本医科大学千葉北総病院の宮下正夫教授の提案を受けて、犬の嗅覚で尿からがん成分を検知する事業を行っています。20種類のがんの発見率は、ほぼ100%ということです。



山形県金山町役場での所管事務調査

◇広報編集常任委員会
委員長 高橋 道也
委員 高橋 真一郎
副委員長 菅野 意美子
委員 佐藤 喜三郎
委員 新関 善三
委員 村上 源吉

の編集に努めてまいります。
(村上源吉)

編集
後記

あけましておめでとうございませう。山木屋の避難が解除されての新年を迎え、今年も復旧・復興事業の継続、風評被害の払しょく、少子高齢化対策、農工商業の活性化等、私たち議員一人ひとりと行政が力を合わせて取り組んでまいります。議会に対して、ご意見ご要望をお寄せください。今年も読みやすい議会だよりの編集に努めてまいります。